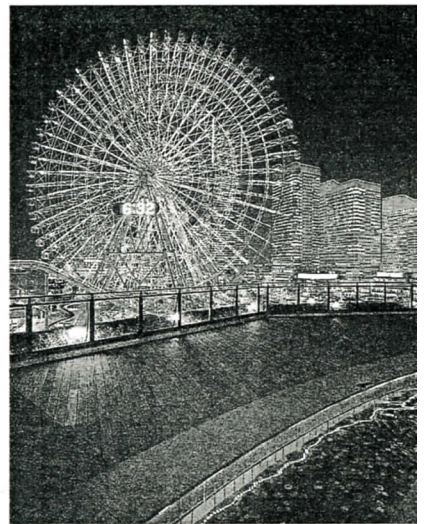
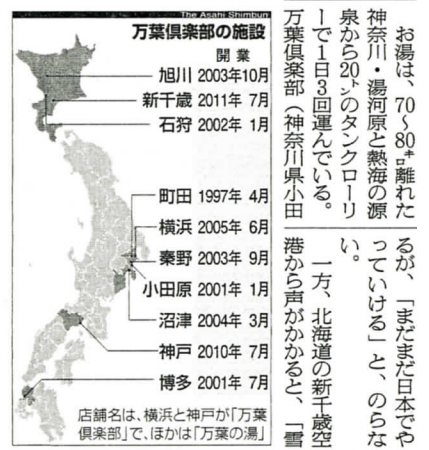


寂れた故郷の温泉街 お客



足湯からは、みなとみらいの大観覧車「コスモック21」が正面に見える＝横浜市中区、菊池康全撮

湯につかりながら高層ビル群、大観覧車、横浜ベイブリッジの夜景が一望できる。彼女と初めて訪れた横浜市港北区の大学院生中村



「みなとみらい店」は大幅改装中だ。お湯は、70〜80℃離れたるが、「まだまだ日本でもやっつけける」と、のらな

一方、北海道の新千歳空港から声がかかると、「雪

お客様視点 重い

高橋会長が「万葉の湯」1号で開いたのは1997年。61歳で写真DPEの会社を立ち上げた先行きが厳しいと異業種に「お客様視点で考える」"ま

記者の視点

北米では、傘下の米地方銀行大手ユニオンバンクと三菱東京UFJ銀行米国人法をまとめる中間持ち株会社をつくり、連携を強めようとして検討している。アジアではシンガポールに担当役員を置く方向で、「現地の銀行と連携し、市場に深く入っていく」。

富士通、マイコン事業譲渡へ

米メーカーと最終交渉

富士通は、半導体の一種である「マイコン」の事業を米国の半導体メーカー、スパンションに譲渡する方向で最終的な交渉に入った。半導体の一種である「システムLSI」の事業もパナソニックと統合する交渉を進めており、ともに交渉がまとまれば、不振が続く半導体事業からは撤退することになる。

マイコンには、自動車や家電などいろいろな動きをコントロールする「頭脳」の役割がある。富士通は開発・設計部門をスパンションに譲渡し、その後三重県と福島県にある工場はしばらく残したうえで、整理や再編を進めていく。半導体事業はかつて富士通の中核だったが、近年は台湾や韓国などの企業に押されて採算がとれなくなっ

日ロ、9分野で協力

シベリア鉄道活用で覚書

日本・ロシア両政府や関係機関は29日の日ロ首脳会談に合せて、エネルギー、石油化学、運輸、金融など9分野で協力を進めると覚書に署名した。

シベリア鉄道は輸送力の強化、北極海航路の利用検討などで協力。日ロの運輸当局は、ロシアに進出する日本企業に日ロ共同で出資や融資をする「日ロ投資プラットフォーム」を設立。国際協力銀行とロシア開発対外経済銀行など

| 分野 | 協力内容 |
|-------|--|
| エネルギー | 石油・天然ガスなど、エネルギー分野の幅広い協力。経済省とロシア・エネルギー省 |
| 運輸 | シベリア鉄道の輸送力の強化、北極海航路の利用検討などで協力。日ロの運輸当局 |
| 金融 | ロシアに進出する日本企業に日ロ共同で出資や融資をする「日ロ投資プラットフォーム」を設立。国際協力銀行とロシア開発対外経済銀行など |
| 石油化学 | ロシア極東・ナホトカでの石油化学コンビナート計画で、開発費用を共同負担し事業検証。三井物産と国営石油会社ロスネフチ |
| 農業 | 北海道とロシア・アムール州の農業発展のために、技術交流などを促進。北海道銀行とアムール州政府 |

三菱UFJ JFG社長 三平野信行氏(61)

日本最大、世界でも有数の金融グループのトップだ。銀行、証券、リースなど約280社を抱え、グループで約5兆円の収益をあげる。

趣味は、小さな美術館をめぐる。仕事で忘れ、自分の別の面を取り戻す時間です。

上向き国内市場にも力

昨年4月に三菱東京UFJ銀行頭取になり、今年4月にグループを束ねる持ち株会社社長に就いた。グループ力とグローバル、二つの強みを生かしたい」と言う。

経営企画などの中枢を歩んできた。十数年を欧米で過ごし、海外の金融マンにも知己が多い。2008年秋のリーマン・ショック後には米金融大手モルガン・スタンレーとの交渉し、出資にこぎつけた。成長分野にあげるのは「海外、とくに北米とアジア」。

北米では、傘下の米地方銀行大手ユニオンバンクと三菱東京UFJ銀行米国人法をまとめる中間持ち株会社をつくり、連携を強めようとして検討している。アジアではシンガポールに担当役員を置く方向で、「現地の銀行と連携し、市場に深く入っていく」。

国内市場も円安・株高で上向きつつある。「金利低下もあり、固定金利の住宅ローンの需要が増える。積極的に対応していく」と言う。(渡辺淳基)

融、農業など9分野で協力することを確認した。極東のシベリア地域を起点にして日ロ間の貿易や投資を活発にしていこうとした。

エネルギーでは、経済産業省とロシア・エネルギー省が石油、天然ガスなどの協力を加速することで合意した。情報交換や両国企業への支援を進めると言う。石油化学分野でも協力する。国営石油会社ロスネフチが極東のナホトカで石油化学コンビナートを計画しており、三井物産が共同で

開発費用を負担し、事業化に向けた検証を進める。国土交通省とロシア運輸省は運輸・物流分野での協力を覚書に交わした。日本からの輸出を増やすため、ロシアを横断するシベリア鉄道を使いやすくなることを検討する。

シベリア鉄道は日本から欧州方面への輸送ルートに使われている。日本の自動車メーカーは、新車を運ぶ時に傷がついたり塗装がはがれたりしないように、屋根やカバー付きの貨物車を増やすよう求めている。ウ

ラジオストックなど極東の港湾開発も話し合う。岸壁を整備したり荷揚げした荷物の情報を正確に把握できるシステムを整えたりする。今のところ日本からモスクワへ荷物を運ぶには、海上輸送でエジプトのセスエズ運河を通るか、陸上輸送でシベリア鉄道を使うかに頼っている。今後、夏に限って北極海を通ることができないかも話し合う。

金融分野では、政府系金融機関の国際協力銀行(JBIC)がロシアに進出する日本企業を支援するた

中小企業の7割 事業の安定優先

政府 白書発表

政府が発表した「中小企業白書」(2013年版)

によると、中小企業の安定」を約7割を占大」を目標だった。き、なんとろと考える中小企業00年以降に業を対象から回答が針として「先するのめ、規模のは27・2%先の企業のる地域(市内)でのピ企業が58、方、規模拡全国または業が62・0雇用人数全国や海外平均22、先で地域を均11・4人中小企業は経済に影響た、安定を支えてい